



2月になりました。高校生活も残り1ヶ月を切ったことになります。大学受験を控えている人は本当の追い込みをかけている状況にあると思います。ただ病気になる体調が万全でない状態で試験を受けても力を出し切れません。体調管理にも十分留意してください。

さて、私が担当する学年通信はこれで最後になります。どんな内容を書いたか忘れている人も多いと思いますが、1年生の1月に書いた学年通信で、高校3年の夏休みに鹿児島までママチャリー人旅をした事を書きました。桜島に行き、温泉に入り、フェリーで鹿児島市へ入り、旅館に1泊し次の日帰ってきた話でした。その話の追加を書きたいなと思います。

このママチャリー旅は、前もって計画したものではなく、その日勉強をしても集中できず、じゃあと思い立ったものでした。ですから宿舎などの予約をしていません。夏場だったので最悪野宿を考えていました。しかし、その日どうしても宿泊したい理由ができました。その日は、2000年8月9日(水)(ウィキペディアで調べました。)、家を出て数時間後の桜島を望む温泉に入りながら思い出したワンピースのアニメの観たいシーンがある日でした。(当時ワンピースは水曜の夜7:30から放送されていました。)

元海軍のベルメールに育てられた戦争孤児のナミ(主人公ルフィと旅を共にする麦わらの一味の航海士)。ベルメールのことが大好きでしたが、ふとしたことで喧嘩をし、家を飛び出していたところをアーロン率いる魚人海賊団に、住んでいたココヤシ村を襲撃されてしまいます。大人10万、子ども5万の奉納金を払えば助けてやるというアーロン。血の繋がりはないナミとベルメールが親子という記録がなく、ベルメールには子どもがいないと判断され、奉納金を大人一人分(へそくり合わせても10万ちょっとしか持っていませんでした。)を払えば見逃してやるということになりました。しかし、ベルメールは、「そのお金は子ども達の分、私のは足りない」と本当のことを言い、「家族がいないなんて言えない」と死を覚悟して親子の絆を守り抜きます。しかし、お金を払えないため、見せしめにベルメールは殺されてしまいます。殺される直前に「ナミ、大好き♡」と笑顔を見せるのがさらに悲しみを増大させました。自転車で丸一日走った後なので、旅館でくたくたになりながらも、一人テレビの前で泣いてしまいました。ナミのこの苦しい過去を思って。

それから時は過ぎ、ワンピースアニメ20周年を記念して、リメイクされたワンピースが放送されました。当然、同じシーンが流れて泣いてしまうのですが。ただ、ナミの苦しみだけでなく、親としてナミを守ってあげられなかった、幸せにしてあげられなかったベルメールの苦しみや、ナミやベルメールが苦しい目に遭っているのに力が無く返り討ちにあってしまった村の駐在ゲンさんの無念に涙が出ていました。高校生の頃と大人になり親になって感じ方が同じシーンなのに違うことに気づきました。

子どもを大切に想っていない親はいません。たまには、腹が立ったり、機嫌が悪く当たってしまうこともあるのかもしれませんが、本当に君たちに幸せになって欲しいと想っています。面と向かって感謝を伝えるのは気恥ずかしいかもしれませんが。ただ、努力を重ねて立派になった我が子を見ることほどうれしいことは無いと思います。その姿を見せることができるよう、進学先、就職先で必死に頑張りましょう。先生達も君たちが立派になって再会できることが本当にうれしいことです。期待しています。

月	日	曜	行事予定(3年に関するもののみ)	朝	夕	備考
2月	8	月	二次特編授業・自宅学習者登校日	×	×	8:15校門通過
	9	火	二次特編授業	×	×	8:15校門通過
	10	水	二次特編授業	×	×	8:15校門通過
	11	木	建国記念の日			
	12	金	二次特編授業	×	×	8:15校門通過
	13	土				
	14	日				
	15	月	二次特編授業・自宅学習者登校日	×	×	8:15校門通過
	16	火	二次特編授業	×	×	8:15校門通過
	17	水	二次特編授業	×	×	8:15校門通過